

黒崎柔道連盟の少年チームが準優勝し、10月2日の全国大会に出場する。また、黒崎中学校の里村明衣子さんが全国大会に出場。また、東京学館高等学校に在学中の天尾美貴さんが全国高校柔道大会に優勝、さらにフランスでの国際柔道大会で優勝など、国際的に活躍する選手になった。ゲートボールは、全国選抜ゲートボール大会に県代表として出場し、また、県ジュニアゲートボール大会では山田小学校ファイターズが優勝、立小小学校スポーツ少年団が3位に入賞した。相撲では、わんぱく相撲全国大会に出場、また、中学生は北信越大会に出場した。その他体操、新体操、バドミントン、ライフルなどで活躍が見られる。②県内では22市町村がスポーツ都市宣言をしている。スポーツ宣言をして、その普及・振興をはかる事は意義があるが、そのためには施設や条件整備等を吟味

して充分検討したい。③県体育協会では、生涯を通じてスポーツ活動を推進し、県民の体力向上と活気あふれた社会の実現に寄与するため、新潟県スポーツ基金を創設し、スポーツ振興をはかるうとしていく。当町は、すでにスポーツ奨励金制度など設けてあるので、今後は体育協会などの意見を聞いて検討したい。

教育長 ④20から22に増えた事について状況調査は、アンケートなど具体的な事はやっていないが、増えた市町村について口頭で、宣言後変化があったか聞いたが特がない、との回答だった。

学校5日制について来年度は月2回になると聞くが

A議員 教育振興対策について ①学校5日制になって2年経過したが、来年度は月2回になると聞くがどうなのか ②もし、実施されるとしたら問題はないか。また、どのような対策を考えているか ③長

い夏休み明け後は、児童生徒の不登校が増加することだが、当町の現状はどうか ④学校5日制の成果についてどのように感じているか。また、月2回になった場合、学習面ではつめ込み教育になる、との声も

入院給食費患者負担への助成をしてほしい

B議員 医療の充実について ①「健康保険法」改悪による入院給食費患者負担への助成を実施してほしい。(老人・重度心身障害者・乳児・ひとり親等) ②乳児医療費助成制度の拡充について。(年齢の引き上げ) ③今までは県の単独事業で、乳児、老人などの医療費は助成してきたが給食費が取られるようになると負担が増える。県の対応に係わらず町単独でやる方向で考えてほしい ④今までは給食が健康保険に含まれていたが今回は含まれると今度は部屋代だとかいうふう

巻原発について隣々接の自治体としての考えは

依存せざるを得ないが安全性を第一に考える必要がある B議員 巻原発について ①隣々接の自治体としての町長の考え方について ②原発に対する反対は、巻では大きく選挙で佐藤町長の得票が5割にもならなかった。町長はこの問題についてもっと慎重に考えてほしい。

合併問題住民説明会はどのように進めるか

説明書に基づいて行い住民の質問を答へる C議員 新潟市との合併問題について ①合併問題懇談会の

あるかどうか ⑤ゲートボールをしていく老人とやっていない人との健康度や生きがいなどを調査する考えはないか ⑥欠席児童が昨年より減っており喜ばしいが、こういう子たちは家庭で普段何をしているか ⑦不登校のまま卒業した中学生はいるか ⑧いじめなどは現在ないか

町長 ①国は平成2、3年度にかけ、社会の変化に対応した新しい学校運営に関する調査研究協力校を選び、月2回実施に向け検討しているが、今のところ、来年度月2回実施するとは文部省は言っていない。②子供の学習負担が増加する事や父母の理解が得られないなど考えられるが、文部省では可能な見通しもあるとしている。当町は地域活動の充実を考慮しており、今後も検討を重ね、推進に充分対応できるように努力したい。③小中学校の不登校生徒数は、30日以上欠席者が小学校では1名、中学校で5名と聞く。また、夏休み明け後に欠席がちになった子供は小学校で1名見受けられる。今後も学校ぐるみで対応続けていきたい。

教育長 ④当初は父母などから勉強上懸念が示されたが、現在は理解が得られるようになり、成果があった。また、地域において、行動を通じて子供

意見がとりまとめられたが議論の中で合併に否定的な意見や進め方に問題点を指摘していることについてどう考えるか ②住民説明会はどのように進めるのか ③その後の計画と町長任期中に合併するのにか ④第4次総合計画の中間報告で冊子が配布されたが合併という事象の中で関連はどうか ⑤根本的デメリットについて考えると、生活圏の一体感がある事は認めるが、町の生活環境が問題だらうし役場が無く、行政サービスに支障を来す事も考えられる。それらの事も充分町民から意見を聞いてほしい。⑥住民説明会の資料では、合併の可否について問う内容になっていない。今回は行財政の比較の説明会なのか ⑦説明会が終わった後の進め方は、任意協議会から法定協議会の手順は ⑧任意協議会を開くのは、どういうタイミングでやるのか。これから議会で審議しても来年の議会改選の後だが

町長 ①懇談会の委員は町内有識者で構成し、合併問題調査報告書をもとに合併問題及び町づくりについての積極的な意見を頂いた。今回の意見書での指摘の事は充分認識し対応したい。②説明会は住民に両市町の内容を理解してもら



9月定例会

たの成長などの成果もある。5日制に伴うつめ込み教育の懸念については調査しても特に問題はないが、今後2日、3日と増える問題がでると考えられるので、今後の課題である。⑤スポーツが健康、生きがいなどのようなかわりがあるか大切なので今後考えたい。⑥図書館で勉強している子供などを見て過ごしている。⑦きちんとした調査ではないが、卒業後担任が調べてみると、大抵が家庭の手伝いをしたり、就職したりしている。⑧県の教育委員会から年に何回か調査がくるが、その調査では今のところないようである。

う事が目的である。進め方としては説明書に基づいて説明し、その後住民の質問を受けた。③計画は、一般的に考えられる事は任意協議会を設置し、諸問題を協議し、建設計画が策定され、それを基にして住民の合意形成のための説明会を開き、その後法定協議会を設置される手順である。また、合併についての考え方は変わらない。④色々な見方があると聞くが合併するから何もしないという事は良くない。将来的な構想を持って合併するまでは取り組まなければならない。そういう意味で第4次総合計画は大切である。⑤町が無くなる事は寂しいが、失うよりも得るものが多く、悪い方向をどういう形で良い方向にしていこうかという考え方で取り組みたい。⑥比較表を説明し、広く住民の意見を聴くのが説明会の趣旨である。それに基づいて合意形成に持っていきたい。⑦議会にはかかる事については、選挙があるから中断という事にはならないと考える。広域行政対策課長 ⑧住民説明会の経過を見て任意協議会に入るが、その前に合併についての協議の申し入れが必要となり、議会の承認を経て任意協議会を設置し、合併した時のこの地区の建設計画について協議し、ビジョンが出来たら

場外舟券売場の施行自治体は施行自治体は決定されていない

B議員 場外舟券売場について ①施行自治体は決定したのか。また、正式に町に要請はきているのか ②上山田自治会の同意についての町長の見解はどうか ③裁判という状況になったが、町長の受け止め方について ④舟券売場と新潟市合併との関連について ⑤戸田が内々的に進出を希望した事について、全く通知がないか ⑥(売場を)近々に作れるメドや自信があるか ⑦説明会で賛成が多く同意したと受け止めておられるようだが、役員会では了承したと、はかられていないと聞くがどうか ⑧1万人近い、きちんとした反対署名があるのに、なぜやるのか ⑨合併とは関係ないと言いが、戸田は平成8年度発売との話を聞くので平成9年度に交付金が入る事になるが、その時は新潟市となっている。関係ないというのはおかしい ⑩(売場を)設置して新潟市に交付金が入れば、交付金を使っている町長の構想は消える事になる。合併しても新潟市がその考え方を受け継げばよいが保証はない。一人よがりではないか

町長 ①施行自治体は決定されていないし、要請もきていない。事項は協定書が結ばれる事になる。

ウルグアイラウンドの国会承認反対をどう考えるか

C議員 米、農業問題について ①ガットウルグアイラウンド農業合意の国会承認反対についてどう考えるか ②食糧管理法の改廃問題について ③農業団体が挙げて、この合意に反対している。消費者団体や一般国民も食品の安全性について心配しており、輸入に先だって添加物の大幅な緩和を国は図ろうとしている。町長は内容について深く検討し、必要な事は国に対して反対の運動を起す気持ちはないか ④国会承認を阻止すれば今までもおり農家の方に農業をやって貰えると思うがどうか

町長 ①国がガットの調整案を決定して以来、農業団体の反対は承知している。しかし国が決定した事を地方公共団体の長として反対することは如何かと思う。今後は上級機関に農家のための対策を行うように行政行動をはかる所存。②国の農政審議会が生産者の創意工夫が発揮されるような米つくりと販売体制を基本と